



北陸先端科学技術大学院大学
先端科学技術研究科（先端科学技術専攻）

博士後期課程
学生募集要項

令和8年10月入学

北陸先端科学技術大学院大学
（先端科学技術専攻）

目 次

I. 巻頭	
博士後期課程入学者選抜試験日程	1
理念と目標	2
アドミッション・ポリシー	2
ディプロマ・ポリシー	3
研究領域の特徴	4
キャリア目標・教育プログラムと選抜試験	5
II. 入学者選抜	
1. 一般選抜	7
2. 特別選抜	
2-1. 海外在住者対象特別選抜	10
2-2. 社会人コース特別選抜	13
2-3. 産学連携社会人コース特別選抜	17
III. 出願資格	22
IV. 出願書類	25
V. 重要事項	
1. 出願及び受験等に関する注意事項	32
2. 受験上及び修学上において特別な配慮等が必要な場合の事前相談	33
3. 入学時納付金	33
4. 長期履修制度	33
5. 教育訓練給付制度（一般教育訓練給付）※東京サテライトのみ	34
6. 安全保障輸出管理	34
7. 個人情報の取扱い	34
VI. 所定の様式	

各選抜に関する全ての事項は、出願者が学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。なお、訂正等があれば本学ホームページ等にてお知らせします。

[問合せ先] 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1
北陸先端科学技術大学院大学 教育支援課入試係
Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp TEL:0761-51-1177
問合せ・窓口受付時間：9時～17時（土日・祝日等を除く）

博士後期課程入学者選抜試験日程

◆令和8年10月入学

試験区分		出願期間	試験期日 (本学が指定した1日)	合格者 発表日	
1. 一般選抜	第2回	6月15日(月)～25日(木)	8月17日(月)～24日(月) (土・日及び祝日等を除く)	9月4日(金)	
2. 特別選抜	2-1. 海外在住者対象特別選抜	事前提出締切：5月20日(水) 出願期間：5月11日(月)～29日(金)	面談及び書類選考	7月24日(金)	
	2-2. 社会人コース 特別選抜	第2回	6月15日(月)～25日(木)	8月15日(土)～24日(月)	9月4日(金)
	2-3. 産学連携社会人 コース特別選抜		6月15日(月)～25日(木)	面談及び書類選考	9月4日(金)

* 修士の学位を有しない場合等、出願前に入学資格審査が必要となる場合がありますので、注意してください。

* 上記及びその他詳細について、「Ⅱ. 入学者選抜」で必ず確認してください。

理念と目標

理念 北陸先端科学技術大学院大学は、豊かな学問的環境の中で世界水準の教育と研究を行い、科学技術創造により次代の世界を拓く指導的人材を育成する。

目標

- ・先進的大学院教育を組織的・体系的に行い、先端科学技術の確かな専門性ととも、幅広い視野や高い自主性、コミュニケーション能力をもつ、社会や産業界のリーダーを育成する。
- ・世界や社会の課題を解決する研究に挑戦し、卓越した研究拠点を形成すると同時に、多様な基礎研究により新たな領域を開拓し、研究成果の社会還元を積極的に行う。
- ・海外教育研究機関との連携を通して学生や教員の交流を積極的に行うとともに、教育や研究の国際化を推進し、グローバルに活躍する人材の育成を行う。

アドミッション・ポリシー

本学は、知識科学、情報科学、マテリアルサイエンスを基幹とした先端科学技術分野における研究への強い意欲と研究を通じた社会貢献に関して明確な目的意識を持ち、自分の考えを的確に表現でき、議論を通じて相互理解に努めようとする態度を持つ者を求めます。その際、学部を持たず大学院のみを置く大学として、過去の経歴や専攻分野にとらわれることなく、大学院等の修了者、外国人留学生及び社会人等を広く受け入れます。

入学希望者は、知識科学、情報科学、マテリアルサイエンス及びその関連分野に関する専門的学力・能力を修得し、修士学位に相当する研究実績を有していることが期待されます。

上記の求める学生像を踏まえて、これまでの研究実績、入学後に学修・研究を行う上で必要となる専門的学力・能力及び意欲について、入学前の研究概要・入学後の研究計画等に関する出願書類及び面接（口頭発表及び口頭試問）により評価して入学者を選抜します。

なお、評価に当たっては、出願書類を参考にしつつ、面接結果を重視します。ただし、推薦入学特別選抜にあつては、面接を免除し、研究概要及び研究計画等の出願書類等に基づき、入学者を選抜します。

ディプロマ・ポリシー

本学先端科学技術研究科先端科学技術専攻では、先端科学技術の確かな専門性ととも、持続可能な社会において求められる幅広い視野や高い自主性、コミュニケーション能力を持つ社会や産業界のリーダーとして活躍できる高度科学技術イノベーション人材を育成することを教育目標としています。

博士後期課程においては、博士前期課程において修得すべき能力に加えて次の能力を修得し、専門分野において優れた研究業績をあげ、かつ、所定の単位を取得して博士論文審査及び最終試験に合格した者に、基幹となる学問分野（※）に応じて、博士（知識科学）、博士（情報科学）又は博士（マテリアルサイエンス）の学位を授与します。

博士後期課程において修得すべき能力

- ・ 専門分野における先端科学技術の理論や体系を幅広く理解する能力
- ・ 学術的に新規性、独創性のある研究を立案、遂行し、世界的に通用する研究業績をあげる能力
- ・ 俯瞰的な視野を持ち、先端科学技術分野においてリーダーシップを発揮できる能力

※基幹となる学問分野

知識科学：人・組織・社会の課題に対してデザイン方法論、経営学、システム科学などの知見を総合して魅力的な解決策を提案し、その実現方法を考える学問分野。

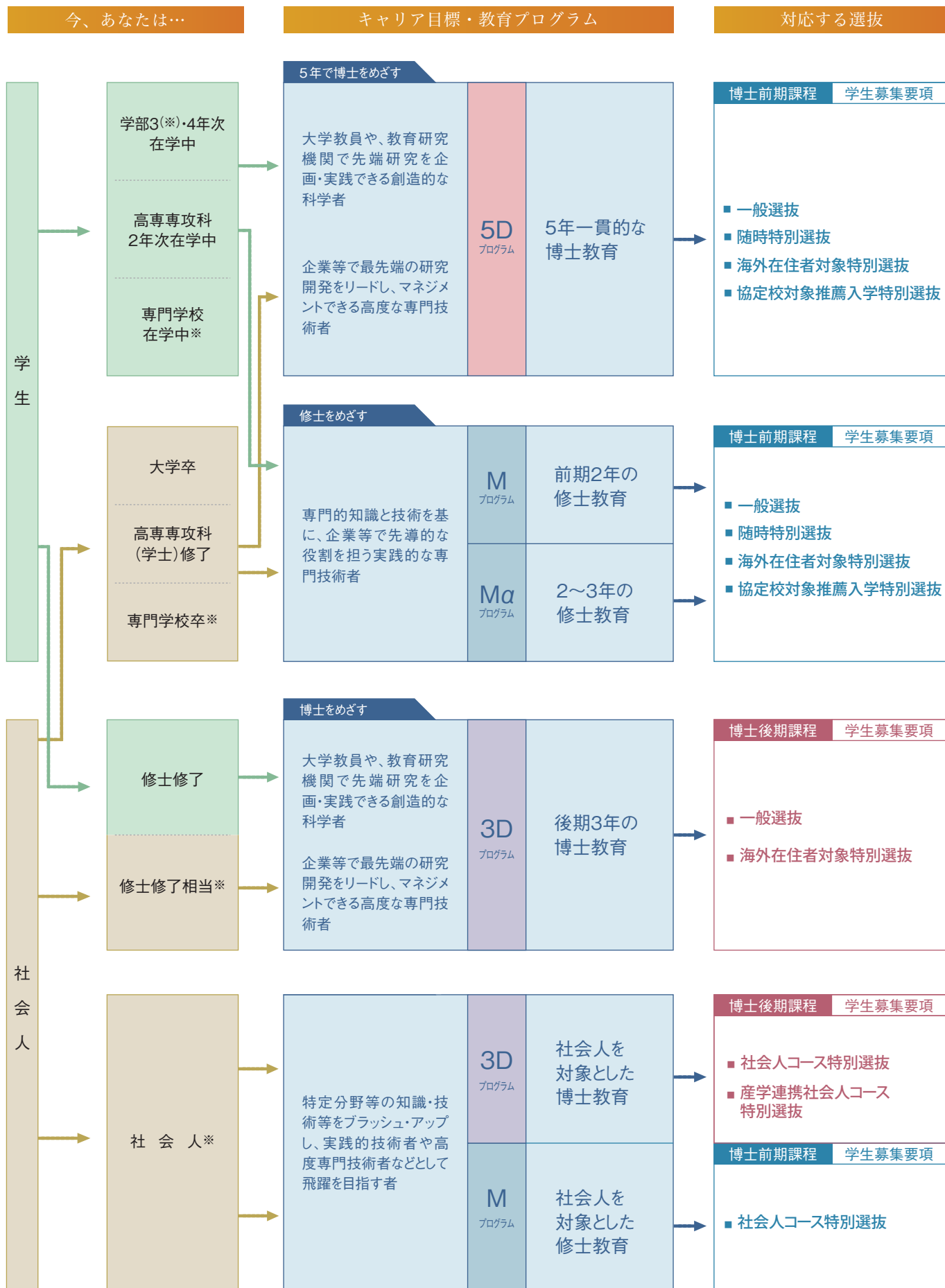
情報科学：情報化社会を支える情報処理・通信に関する技術（ICT）において、人類・社会の課題解決や未踏分野の開拓を目指し、新たな革新的基礎理論・基盤技術・応用を創り出す学問分野。

マテリアルサイエンス：物理・化学・生物及びそれらの関連科学技術を基として、人類・社会の課題解決や未踏分野の開拓を目指して、新たな革新的マテリアルを創り出す学問分野。

研究領域の特徴

研究領域名	概要	キーワード
AI 知性 研究領域	人類の深遠な知性を解き明かし、共に成長する AI を研究することで、人類の知性を飛躍的に高める	知性科学, 知性の計算理論, AI for Science, 人間中心 AI, ヒューマン-AI インタラクション, 知識構造化, 自然言語処理, マテリアルズインフォマティクス, ソフトロボティクス, フィジカルインテリジェンス, コンピュータグラフィックス, 画像生成 AI, 人間拡張, マルチモーダルインタラクション, 社会的信号処理
社会システムマネジメント 研究領域	知性が組織を変え、社会を動かす研究を通じて、人類知性の最前線へ理論と実践で、新たな時代をデザイン	知識マネジメント, 技術経営, サービス経営, 先端科学技術政策, 人類知性, システムデザイン, ウェルビーイング, 公共の知性, リスクイノベーション, 災害マネジメント, 都市計画, サステナビリティ, 循環経済, 資源マネジメント, サービスデザイン人類学, 医療政策, ビジネスエスノグラフィ
データ社会メディア 研究領域	「知」の冒険！ 未来のデータ科学、メディア、文化の開拓 創造的想像力を用いた心と体・IT・社会システムの探求	知識科学、データ科学、データ・情報・知識・知恵、インタラクション、サイバネティクス、AI、マルチメディア、AR/MR/VR、意思決定科学、心理学、経済学、認知科学、教育学、分析哲学、数理科学、環境科学、システム科学、ネットワーク科学、文化進化、行動変容、CSCW、創造性、集合知、STEAM 教育
コンピューティング科学 研究領域	計算を科学し、計算できることの限界を知り、膨大なデータから正しい結論を導く方法を明らかにする	情報科学、暗号と情報セキュリティ、数理論理学、人工知能、定理自動証明、形式手法、理論計算機科学、データサイエンス、分散システム、アルゴリズム、情報理論
次世代デジタル社会基盤 研究領域	未来の社会を実現し、人類の発展を支える次世代情報システムの研究を推進	スマートシティ、サイバーセキュリティ、IoT、インターネット、情報システム、組込みシステム、ソフトウェアエンジニアリング、形式手法、次世代ワイヤレス・センサー通信、超 LSI 設計法、AI プラットフォーム
人間情報学 研究領域	人間の情報処理機構を解明し、より高度な情報処理システムへと応用する	知覚情報処理、知能情報処理、マルチモダリティ、コミュニケーション、教育・学習工学、ゲーム情報学、自然言語処理、音声情報処理、画像・映像情報処理、ヒューマンインタフェース、知能ロボティクス
メディカルサイエンス 研究領域	未来を創る、医療材料イノベーションの最前線	バイオマテリアル、ドラッグデリバリーシステム、再生医療、ナノメディスン、精密医療、細胞治療技術、次世代がん治療、アンチエイジング
物質化学フロンティア 研究領域	物質化学のフロンティアを開拓し、豊かで持続可能な社会に貢献する	カーボンニュートラル、ウェルビーイング、エネルギー関連材料、環境調和材料、グリーンケミストリー、機能性ナノ材料、高分子、触媒、マテリアルズ・インフォマティクス、先端機器分析
ナノマテリアル・デバイス 研究領域	ナノマテリアル・デバイスの先端科学技術を探め、ウェルビーイングな社会実現を目指す	ナノ粒子×バイオ・エネルギー、ナノワイヤ×スピンドデバイス、二次元材料×先端顕微鏡、エネルギー材料、ナノイメージング×分光、スピントロニクス×量子センシング、半導体エレクトロニクス×デバイス計測技術、太陽電池×高寿命化、マテリアルサイエンス×DX・データ
バイオ機能医工学 研究領域	バイオ機能の理解に基づく先端バイオテクノロジー研究とバイオメディカル分野への応用展開	バイオテクノロジー、バイオメディカル、タンパク質、DNA/RNA、生体膜、糖鎖、バイオ分子解析、人工バイオ分子創出、バイオデバイス、遺伝子編集、分子ロボティクス

キャリア目標・教育プログラムと選抜試験



※入学資格審査を要する場合がありますので、詳細は、募集要項の各選抜のページで確認してください。

Ⅱ. 入学者選抜

1. 一般選抜

2. 特別選抜

2－1. 海外在住者対象特別選抜

2－2. 社会人コース特別選抜

2－3. 産学連携社会人コース

特別選抜

1. 一般選抜

1. 募集人員

研究科	専攻	募集人員	
先端科学技術研究科	先端科学技術専攻	令和8年10月入学	95名 (注1, 2, 3)

(注1) 令和8年4月一般選抜の募集人員を含みます。

(注2) 特別選抜の募集人員を含みます。

(注3) 高度情報専門人材育成コースの募集人員5名を含みます。

※高度情報専門人材育成コース

JAIST では、文部科学省の令和6年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）の採択に伴い、令和7年度10月から、高度情報専門人材育成コース（通称、JAIST×Human コース）を開設しています。

本コースの詳細については本学 HP (<https://www.jaist.ac.jp/project/jaist-human/>) を確認してください。

2. 出願資格

「Ⅲ. 出願資格 (22 ページ)」で確認してください。

3. 出願期間

出願期間は次のとおりです。出願期間内に「4. インターネット出願登録」を行ってください。

試験区分			出願期間
一般選抜	令和8年10月入学	第2回	令和8年6月15日(月)～25日(木)

4. インターネット出願登録

インターネット出願登録前に教員一覧（トップページ→研究科・領域→[学修分野]知識科学／情報科学／マテリアルサイエンス→教員一覧）を確認し、出願者はあらかじめ希望指導教員に連絡をとり、研究室受入れの内諾を得てください。内諾には数週間必要なため、早めに対応してください。ただし、この内諾は合格を確約するものではありません。

本選抜はインターネットで出願登録を行います。

インターネット出願登録は本学ホームページ（入学案内→インターネット出願）のインターネット出願登録サイトから行います。

出願登録方法の詳細については、インターネット出願登録サイトを参照してください。

[インターネット出願登録サイト URL]

<https://www.jaist.ac.jp/admissions/internet-application/internet-application.html>

(1) 検定料

インターネット出願登録の際、検定料を納付する必要があります。支払い方法等については、インターネット出願登録サイトでご確認ください。

区分	金額	摘要
検定料	30,000 円	・ 検定料とは別に払込手数料が必要です。 ・ 納付された検定料は原則返還しません。 ・ 国費外国人留学生は納付不要です。

※国費外国人留学生は、インターネット出願システムでの検定料納付手続不要のため、出願締切の前日までに電子メールで教育支援課入試係 (Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp) に連絡してください。なお、他大学に在学している国費外国人留学生は、証明書（奨学金支給期間が明記されたもの）も併せて添付してください。

(2) アップロードする書類

インターネット出願登録の際、証明書、任意の様式及び所定の様式等をアップロードする必要があります。

5. 出願書類

「IV. 出願書類 (25 ページ)」で確認してください。

6. 受験票の発送

「4. インターネット出願登録」の手続が完了し、出願を受理した時は、本学から受験票及び受験上の注意等をそれぞれの出願締切後に発送します。出願を受理したかについての問い合わせには回答しません。受験票等が試験期日の1週間前までに届かない場合は、教育支援課入試係 (Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp) まで問い合わせてください。

7. 試験期日及び選抜方法

(1) 試験期日及び場所

試験区分に対応して、次に定める期日のうち、本学が指定した1日に**本学（石川キャンパス）**で試験を行います。試験日時は、発送する受験票で通知します。

試験区分			試験期日
一般選抜	令和8年10月入学	第2回	令和8年8月17日(月)～24日(月)

(注) 土・日及び祝日等を除く。

(2) 選抜方法

試験は、面接（研究概要、研究計画等に関する口頭発表及び口頭試問）により次のとおり実施し

ます。

口頭発表	口頭試問	計
20分	30分	50分

口頭発表の際にノートパソコンを使用する場合は、各自で持参してください。プロジェクターは本学で準備します。発表用資料を面接委員に紙で配付する場合は、A4サイズ（様式自由）で当日4部持参してください。

(3) 合否判定方法

面接試験の結果及び提出書類により、総合判定します。

8. 合格者の発表等

(1) 合格者発表日

次の合格者発表日に、合格者の受験番号を本学ホームページに掲載するとともに、合格者のみに結果通知書を発送します。

また、電話・メール等による合否の問合せには一切応じません。

入学手続は、合格者発表時又は発表後に送付する「入学手続案内」により、入学手続期限までに行ってください。

試験区分			合格者発表日	入学手続期限
一般選抜	令和8年10月入学	第2回	令和8年9月4日(金)	令和8年9月中旬予定

(2) 入学後の学修場所

本学（石川キャンパス）に限ります。学修の一部又は全部を東京サテライト及び金沢駅前オフィスで行うことは原則認めません（公開行事等への出席は可）。

9. その他の重要事項

「V. 重要事項（32 ページ）」を必ず確認してください。

2-1. 海外在住者対象特別選抜

出願時点で海外に在住している者で、研究意欲の高い学生に対し、進学のを拓けることを目的として、渡日せずに受験できる海外在住者対象特別選抜を実施しています。

1. 募集人員

研究科	専攻	募集人員
		令和8年10月入学
先端科学技術研究科	先端科学技術専攻	15名 (注1,2)

(注1) 海外在住者対象推薦入学特別選抜令和8年4月募集人員を含みます。

(注2) 高度情報専門人材育成コース募集人員の若干名を含みます。

※高度情報専門人材育成コース

JAIST では、文部科学省の令和6年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）の採択に伴い、令和7年度10月から、高度情報専門人材育成コース（通称、JAIST×Human コース）を開設しています。

本コースの詳細については本学 HP (<https://www.jaist.ac.jp/project/jaist-human/>) を確認してください。

2. 出願資格

「Ⅲ. 出願資格 (22 ページ)」で確認してください。なお、出願時点で海外に在住している必要があります。

3. 出願手続

次の①～③の順に、出願手続を行ってください。

①内諾

出願される際は、教員一覧（トップページ→研究科・領域→[学修分野]知識科学／情報科学／マテリアルサイエンス→教員一覧）を確認し、出願手続前に出願者はあらかじめ希望指導教員に連絡をとり、研究室受入れの内諾を得てください。内諾には数週間必要なため、早めに対応してください。

ただし、この内諾は合格を確約するものではありません。

②出願書類事前提出

次の締切までにデータ化（PDF 化）した出願書類一式を電子メールで本学教育支援課入試係（Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp）宛に送付してください。その後、出願書類に不備等が無いかを確認し、その結果を本人宛に連絡します（出願書類は「Ⅳ. 出願書類 (25 ページ)」を参照すること）。

試験区分	事前提出締切日
令和8年10月入学	令和8年5月20日(水)

※電子メールの件名を「(名前) D 海外在住者対象特別選抜 出願書類事前提出」にすること。

※電子メールで出願書類一式を提出する際、出願書類^(注)のみを提出し、それ以外の書類は提出不要。

(注) 検定料の支払い方法により、出願書類には次の違いがあります。

- ・クレジットカードを持っていない場合は、インターネット出願登録サイトにて支払い手続きができないため、検定料払込証明書を含めて提出すること。
- ・クレジットカードを持っている場合は、事前提出確認後にインターネット出願登録サイトにて支払い手続きを行うため、出願書類提出時の電子メール本文に「インターネット出願登録サイトにて支払う」旨を記載すること。

※この事前提出は必須ではないが、出願書類に不備があった場合は出願不受理となるので、なるべく早めに事前提出し、確認を受けることが望ましい。

※事前提出締切後に提出された出願書類のデータは原則受け付けないので、③によりインターネット出願登録及び証明書類の郵送を行うこと。

③出願

(1) 出願方法

i. インターネット出願登録

本選抜はインターネットで出願登録を行います。インターネット出願システムによる提出及び検定料の支払い後、「ii. 証明書類の郵送」を行うことで、出願手続きが完了します。

インターネット出願登録は本学ホームページ(入学案内→インターネット出願)のインターネット出願登録サイトから行います。

出願登録方法の詳細については、インターネット出願登録サイトを参照してください。

[インターネット出願登録サイト URL]

<https://www.jaist.ac.jp/admissions/internet-application/internet-application.html>

インターネット出願登録の際、検定料を納付する必要があります。支払い方法等については、インターネット出願登録サイトでご確認ください。

区分	金額	摘要
検定料	30,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検定料とは別に払込手数料が必要です。 ・ 納付された検定料は原則返還しません。 ・ 国費外国人留学生は納付不要です。

※海外からの検定料支払い方法はクレジットカードのみのため、クレジットカードを持っていない場合は、出願締切の前日までに教育支援課入試係 (Email: nyushi@ml.jaist.ac.jp) 宛にご連絡ください。

ii. 証明書類の郵送

インターネット出願登録後、証明書類は一括して封筒(出願者の氏名・住所を明記すること)に入れ、DHL、EMS等で教育支援課入試係へ郵送してください。

[送付先] Admissions Section

Japan Advanced Institute of Science and Technology (JAIST)

1-1 Asahidai Nomi Ishikawa 923-1292 JAPAN

※DHL、EMS 等で郵送する際、追跡番号を教育支援課入試係 (Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp) 宛にご連絡ください。

(2) 出願期間

試験区分	出願期間 (期間内の消印有効)
令和 8 年 10 月 入学	令和 8 年 5 月 11 日(月)~29 日(金)

4. 出願書類

「IV. 出願書類 (25 ページ)」で確認してください。

5. 選抜方法

出願を受理した場合、専門分野等を考慮した上で本学で面談担当教員を決定します。

その後、面談担当教員から受験者へ連絡しますので、面談の日程、場所、方法等について相談の上、決定してください。面談は、主に WEB コミュニケーションツール等を用いて行い、詳しい研究内容・学生生活等について話し合います。

面談の結果及び出願書類を総合判定して合格者を決定します。

6. 合格者の発表等

(1) 合格者発表日

次の合格者発表日に、受験者全員に合否結果を送付します。

ホームページへの掲載は行いません。また、電話・メール等による合否の問合せには一切応じません。

入学手続は、合格者発表時に送付する「入学手続案内」により、入学手続期限までに行ってください。

試験区分	合格者発表日	入学手続期限
令和 8 年 10 月 入学	令和 8 年 7 月 24 日(金)	令和 8 年 9 月上旬予定

(2) 入学後の学修場所

本学 (石川キャンパス) に限ります。学修の一部又は全部を東京サテライト及び金沢駅前オフィスで行うことは原則認めません (公開行事等への出席は可)。

7. その他の重要事項

「V. 重要事項 (32 ページ)」を必ず確認してください。

2-2. 社会人コース特別選抜

社会人コースは主に社会人を対象としており、講義及び研究指導等は石川キャンパス及び東京サテライトで実施します。

博士後期課程は、次のプログラムの中から入学後に希望のプログラムを選択します。

先端知識科学プログラム

知識科学とは、「知」をキーワードとし、個人、組織、社会、自然における「知」の創造、蓄積、活用のメカニズムと体系化を探求する新しい学問であり、本学では、社会科学・情報科学・メディア科学・システム科学・サービス科学分野の諸学問を融合し、社会からの多様なニーズに応えることを目指しています。東京社会人コースでは、博士前期課程プログラムとして技術・サービス経営に関する複数のプログラムを用意し、実践現場での「知」を学術的に取り扱い、「知」の創造・蓄積・活用を促進するための教育・研究活動を展開しています。これらを基盤としつつ、先端知識科学プログラムは東京サテライトに設置する博士後期課程プログラムとして、技術・サービス経営を含む知識科学全般にわたる高度な専門知識・技術を教授するとともに、高度な研究能力と実践力を持つ専門職および知識科学研究者の育成を目指します。

先端情報科学プログラム

先端情報科学プログラムでは、様々な分野の社会人を対象として、情報科学的思考法、情報科学分野の先端知識とその基礎となる諸理論・技術を講義し、適切な演習により知識の応用力を養成します。さらに博士論文研究を通じて、情報科学に関する先端的な技術や方法を実践的な課題解決に応用する能力を身につけます。これらのカリキュラムにより、情報科学に関わる分野の広がりや常に最新の研究をもとに俯瞰でき、さらに技術イノベーションを自ら生み出すことのできる先端情報科学人材を養成します。

本プログラムが提供する講義群としては、情報科学を広範囲にカバーする講義群と各分野の先端的な内容に関する専門講義群に加え、社会的需要が特に大きい組込みシステムに関する講義群があります。

1. 募集人員

研究科	専攻	募集人員	
先端科学技術研究科	先端科学技術専攻	令和8年10月入学	15名 (注1,2)

(注1) 社会人コース特別選抜令和8年4月募集人員を含みます。

(注2) 高度情報専門人材育成コース募集人員の若干名を含みます。

※高度情報専門人材育成コース

JAIST では、文部科学省の令和6年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）の採択に伴い、令和7年度10月から、高度情報専門人材育成コース（通称、JAIST×Human コース）を開設しています。

本コースの詳細については本学 HP (<https://www.jaist.ac.jp/project/jaist-human/>) を確認してください。

2. 出願資格

入学希望月の前月末日までに[要件 A]の(ア)又は(イ)のいずれかに該当し、かつ、[要件 B]のいずれかに該当する者。

[要件 A]

- (ア) 大学等を卒業後、入学時まで6か月以上の有職経験があり、現に就業し入学後も就業しながら修学する者
- (イ) 大学等を卒業後、10年以上の有職経験がある者

上記(ア)、(イ)の有職経験には非常勤を含む。ただし学生の間のアルバイト、TA、RA等は含まない。

[要件 B]

「Ⅲ. 出願資格 (22 ページ)」で確認してください。

3. 出願期間

出願期間は次のとおりです。出願期間内に「4. インターネット出願登録」を行ってください。

試験区分			出願期間
社会人コース 特別選抜	令和8年10月入学	第2回	令和8年6月15日(月)～25日(木)

4. インターネット出願登録

インターネット出願登録前に教員一覧(トップページ→研究科・領域→[学修分野]知識科学/情報科学/→教員一覧)を確認し、出願者はあらかじめ希望指導教員に連絡をとり、研究室受入れの内諾を得てください。内諾には数週間必要なため、早めに対応してください。

ただし、この内諾は合格を確約するものではありません。

本選抜はインターネットで出願登録を行います。

インターネット出願登録は本学ホームページ(入学案内→インターネット出願)のインターネット出願登録サイトから行います。

出願登録方法の詳細についてはインターネット出願登録サイトを参照してください。

[インターネット出願登録サイト URL]

<https://www.jaist.ac.jp/admissions/internet-application/internet-application.html>

(1) 検定料

インターネット出願登録の際、検定料を納付する必要があります。支払い方法等については、インターネット出願登録サイトでご確認ください。

区分	金額	摘要
検定料	30,000 円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検定料とは別に払込手数料が必要です。 ・ 納付された検定料は原則返還しません。

(2) アップロードする書類

インターネット出願登録の際、証明書、任意の様式及び所定の様式等をアップロードする必要があります。

5. 出願書類

「IV. 出願書類 (25 ページ)」で確認してください。

6. 受験票の発送

「4. インターネット出願登録」の手続が完了し、出願を受理した時は、本学から受験票及び受験上の注意等をそれぞれの出願締切後に発送します。出願を受理したかについての問い合わせには回答しません。受験票等が試験期日の1週間前までに届かない場合は、教育支援課入試係 (Email:nyushi@m1.jaist.ac.jp) まで問い合わせてください。

7. 試験期日及び選抜方法

(1) 試験期日及び場所

試験区分に対応して、次に定める期日のうち、本学が指定した1日に**東京（東京サテライト）**で試験を行います。試験日時は、発送する受験票で通知します。

試験区分			試験期日
社会人コース 特別選抜	令和8年10月入学	第2回	令和8年8月15日(土)～24日(月)

(2) 選抜方法

試験は、面接（研究概要、研究計画等に関する口頭発表及び口頭試問）により次のとおり実施します。

口頭発表	口頭試問	計
20 分	30 分	50 分

口頭発表の際にノートパソコンを使用する場合は、各自で持参してください。プロジェクターは本学で準備します。発表用資料を面接委員に紙で配付する場合は、A4 サイズ（様式自由）で当日4部持参してください。

(3) 合否判定方法

面接試験の結果及び提出書類により、総合判定します。

8. 合格者の発表等

次の合格者発表日に、合格者の受験番号を本学ホームページに掲載するとともに、合格者のみに結果通知書を発送します。

また、電話・メール等による合否の問合せには一切応じません。

入学手続は、合格者発表時又は発表後に送付する「入学手続案内」により、入学手続期限までに行ってください。

試験区分			合格者発表日	入学手続期限
社会人コース 特別選抜	令和8年10月入学	第2回	令和8年9月4日(金)	令和8年9月中旬予定

9. その他の重要事項

「V. 重要事項 (32 ページ)」を必ず確認してください。

2-3. 産学連携社会人コース特別選抜

産学連携社会人コースは、本学との産学連携研究等を通じて博士の学位を目指す社会人を対象としています。講義及び研究指導等は石川キャンパス及び東京サテライトで実施しますが、オンライン形式で受講できる機会もあります。

このコースに在籍する博士後期課程学生は、以下の産学連携先端科学技術プログラム（早期修了）または産学連携先端科学技術プログラム（一般）の選択を必修とします。

なお、産学連携先端科学技術プログラム（早期修了）を希望した場合であっても、産学連携先端科学技術プログラム（一般）での合格と判定されることがあります。

産学連携先端科学技術プログラム（早期修了）

これまでの研究業績や、所属機関と本学との産学連携研究等を通じた研究業績等を踏まえて、最短1年（※）での博士学位の取得を目指すプログラムです。

研究・学修の進捗状況によっては、1年以上に延長することも可能です。

産学連携先端科学技術プログラム（早期修了）を選択するためには、出願時点において、査読付き国際誌学術論文（発表済みまたは発表決定済みのもの）1報以上またはそれに準じる研究業績を有することを条件とします。

産学連携先端科学技術プログラム（一般）

所属機関と本学との産学連携研究等を通じた研究業績等を踏まえて、標準3年での博士学位の取得を目指すプログラムです。

あらかじめ3年を超える長期の履修計画とすることや、研究・学修の進捗状況によって3年未満（※）に短縮することも可能です。

産学連携先端科学技術プログラム（一般）を選択するうえでは、出願時点において、研究成果（論文発表されていないものや所属機関等で活用されていないものを含む）を有することが推奨されます。

（※）大学院設置基準の規定により、博士課程の修了には、修士相当課程の在学年数を含め最低3年以上の在学期間が必要となります。このため、例えば、修士相当課程を1年で早期修了した場合は、本制度による博士後期課程の修了に最短2年の在学期間が必要となります。（入学資格審査を経て受験する場合は、この限りではありません。）

1. 募集人員

研究科	専攻	募集人員	
先端科学技術研究科	先端科学技術専攻	令和8年10月入学	若干名（注1）

（注1）産学連携社会人コース特別選抜令和8年4月入学の募集人員を含みます。

2. 出願資格

入学希望月の前月末日までに[要件A]に該当し、かつ、[要件B]のいずれかに該当する者。

[要件 A]

大学等を卒業後、入学時まで 6 か月以上の有職経験があり、現に就業し入学後も就業しながら修学する者。

有職経験には非常勤を含む。ただし学生の間のアパート、TA、RA等は含まない。

[要件 B]

「Ⅲ. 出願資格 (22 ページ)」で確認してください。

3. 出願期間

出願期間は次のとおりです。出願期間内に「4. インターネット出願登録」、「5. 証明書類の郵送」を行ってください。

試験区分			出願期間
産学連携 社会人コース 特別選抜	令和 8 年 10 月 入学	第 2 回	令和 8 年 6 月 15 日 (月) ~ 25 日 (木)

4. インターネット出願登録

インターネット出願登録前に教員一覧 (トップページ→研究科・領域→[学修分野]知識科学/情報科学/マテリアルサイエンス→教員一覧)を確認し、出願者はあらかじめ希望指導教員に連絡をとり、研究室受入れの内諾を得てください。内諾には数週間必要なため、早めに対応してください。ただし、この内諾は合格を確約するものではありません。

本選抜はインターネットで出願登録を行います。インターネット出願登録後、「5. 証明書類の郵送」を行うことで、出願手続きが完了します。

インターネット出願登録は本学ホームページ (入学案内→インターネット出願) のインターネット出願登録サイトから行います。

出願登録方法の詳細についてはインターネット出願登録サイトを参照してください。

[インターネット出願登録サイト URL]

<https://www.jaist.ac.jp/admissions/internet-application/internet-application.html>

(1) 検定料

インターネット出願登録の際、検定料を納付する必要があります。支払い方法等については、インターネット出願登録サイトでご確認ください。

区分	金額	摘要
検定料	30,000 円	・ 検定料とは別に払込手数料が必要です。 ・ 納付された検定料は原則返還しません。

(2) アップロードする書類

インターネット出願登録の際、任意の様式及び所定の様式等をアップロードする必要があります。

5. 出願書類

「IV. 出願書類 (25 ページ)」で確認してください。

6. 証明書類の郵送

インターネット出願登録後、証明書類を郵送してください。証明書類は一括して、角2封筒（出願者の氏名・住所を明記し、「産学連携社会人コース特別選抜・証明書類在中」と朱書きすること）に入れ、速達書留郵便で送付してください。なお、教育支援課入試係窓口に持参し、提出することも可能です。

**【郵送・提出先】〒923-1292 石川県能美市旭台1-1
北陸先端科学技術大学院大学 教育支援課入試係
窓口受付時間：9時～17時（土日・祝日等を除く）**

7. 選抜方法

出願を受理した場合、専門分野等を考慮した上で本学で面談担当教員を決定します。

その後、面談担当教員から受験者へ連絡しますので、面談の日程、場所、方法等について相談の上、決定してください。面談は、主にWEBコミュニケーションツール等を用いて行い、詳しい研究内容・学生生活等について話し合います。

面談の結果及び出願書類を総合判定して合格者を決定します。

8. 合格者の発表等

次の合格者発表日に、受験者全員に合否結果を送付します。

ホームページへの掲載は行いません。また、電話・メール等による合否の問合せには一切応じません。

入学手続は、合格者発表時又は発表後に送付する「入学手続案内」により、入学手続期限までに行ってください。

試験区分			合格者発表日	入学手続期限
産学連携 社会人コース 特別選抜	令和8年10月入学	第2回	令和8年9月4日(金)	令和8年9月中旬予定

9. その他の重要事項

- (1) 産学連携先端科学技術プログラム（早期修了）を希望した場合であっても、産学連携先端科学技術プログラム（早期修了）としては不合格、産学連携先端科学技術プログラム（一般）としては合格となる場合があります。この場合、産学連携先端科学技術プログラム（一般）を選択して本学に入学することができます。

(2) 「V. 重要事項 (32 ページ)」を必ず確認してください。

Ⅲ. 出願資格

出願資格

入学希望月の前月末日までに次のいずれかに該当する者。

- (1) 修士の学位又は専門職学位(学校教育法第104条第3項の規定に基づき学位規則(昭和28年文部省令第9号)第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。)を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
〔 国際連合大学：国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された大学 〕
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学において当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの)
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの

※上記出願資格(1)～(6)のいずれかに該当する場合は、入学資格審査を受ける必要はありません。

【入学資格審査】

出願資格(7)、(8)により出願を希望する場合は、出願前に入学資格審査を行うので、入学資格審査要項及び出願調書等を本学ホームページ(入学案内→学生募集要項)からダウンロードし、直接入力・印刷の上、次の期日までに審査書類を提出してください。

試験区分			提出締切日(必着)
令和8年 10月入学	一般選抜	第2回	令和8年5月29日(金)
	海外在住者対象特別選抜		令和8年4月28日(火)
	社会人コース特別選抜	第2回	令和8年5月29日(金)
	産学連携社会人コース特別選抜		令和8年5月29日(金)

入学資格審査の詳細については入学資格審査要項を参照してください。

[入学資格審査 URL]

<https://www.jaist.ac.jp/admissions/application-guide/Eligibility.html>

審査結果通知書は、出願締切の1週間前までに本人宛に通知します。審査結果通知書が届かない場合は、教育支援課入試係 (Email:nyushi@ml.jaist.ac.jp) まで問い合わせてください。入学資格を認められた場合に限り、出願することができます。

IV. 出願書類

出願書類一覧は次のとおりです。出願にあたっては、志願する試験区分の必要書類の詳細を必ず確認してください。

	必要書類	試験区分			
		一 般	海外在住	社 会 人	産 学
本学所定様式					
(1)	入学願書	—	○	—	—
(2)	産学連携先端科学技術プログラム希望届	—	—	—	○
(3)	同意書	—	—	—	○
(4)	特定類型該当性の自己申告書	○	○	○	○
(5)	誓約書	○	○	○	○
(6)	学校教育等履歴書	△	○	△	△
(7)	職歴調書	—	—	○	○
(8)	志望理由書	—	○	—	—
(9)	高度情報専門人材育成コース申請書	□	□	□	—
任意様式					
(1)	本学入学前の研究概要	○	○	○	○
(2)	本学入学後の研究計画	○	○	○	○
証明書类等					
(1)	顔写真	○	—	○	○
(2)	成績証明書	○	○	○	○
(3)	修了（見込）証明書	○	○	○	○
(4)	修士の学位授与（見込）証明書	△	△	△	△
(5)	検定料払込証明書	—	△	—	—
(6)	研究室受入文書	○	○	○	○
(7)	産学連携先端科学技術プログラム受入文書	—	—	—	○
(8)	推薦書	—	—	—	○
(9)	研究業績に関する資料	—	—	—	○
(10)	国費留学生証明書	△	—	—	—
(11)	外国政府派遣留学生証明書	△	△	—	—
(12)	戸籍抄本等	△	—	△	△

○：必須、△：該当者のみ、□：希望者のみ、—：不要

- 一 般** 一般選抜
- 海外在住** 海外在住者対象特別選抜
- 社 会 人** 社会人コース特別選抜
- 産 学** 産学連携社会人コース特別選抜

本学所定様式

所定の様式は、本学ホームページ（入学案内→所定の様式）からダウンロードし、直接入力してください。

[所定の様式ダウンロード URL]

<https://www.jaist.ac.jp/admissions/application-form/form-d.html>

- (1) 入学願書
海外在住者対象特別選抜用を使用すること。写真は加工しないこと。
- (2) 産学連携先端科学技術プログラム希望届
産学連携先端科学技術プログラム（早期修了）又は産学連携先端科学技術プログラム（一般）のいずれかを選択すること。
- (3) 同意書
知的財産に関わる事項について、志願者及び所属機関の担当者に確認の後、それぞれの署名が必要。
- (4) 特定類型該当性の自己申告書
- (5) 誓約書
内容を確認の上、日付及び氏名を手書きで記入すること。
- (6) 学校教育等履歴書
対象：大学に限らず、外国において学校教育を受けた者。
- (7) 職歴調書
書類は 11 ポイント以上のフォントを用い A4 判片面 1 枚に収めること（補足資料の添付は不可）。
- (8) 志望理由書
書類は 11 ポイント以上のフォントを用い A4 判片面 1 枚に収めること（補足資料の添付は不可）。
- (9) 高度情報専門人材育成コース申請書
本コースを希望する者は提出すること。本コースは「情報科学」の学位取得を希望する者に限る。願書の希望する学位が「情報科学」以外の者は本コース対象外。

任意様式

- (1) 本学入学前の研究概要
これまでに行った研究について、A4 判片面印刷で 4 枚以下（字数は自由）にまとめたもの。研究に関する論文発表等があれば、本文の後にリスト等を付記してもよい（総枚数に含む）。日本語又は英語で記入すること。なお、各ページ右上に氏名及びページ番号を記入すること。

《試験区分別の注意事項》

産 学

論文発表されていないものや企業等で活用されていないものを含めてもよい。

(2) 本学入学後の研究計画

本学入学後において取り組みたい研究計画について、A4判片面印刷で2枚以下(字数は自由)にまとめたもの。日本語又は英語で記入すること。なお、各ページ右上に氏名及びページ番号を記入すること。

証明書類等

(1) 顔写真

出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なしのカラー顔写真データ(jpeg, jpg, png, bmpのいずれかのファイル形式で最大2MBまで)を用意し、インターネット出願登録サイトに従いアップロードすること。

※本人確認に使用するため、写真の加工はしないこと。

(2) 成績証明書 **※写し(コピー)不可**

(3) 修了(見込)証明書 **※写し(コピー)不可**

出願資格を満たす出身大学院の学長又は研究科長が日本語又は英語で作成したものを提出すること。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文(日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める)を併せて提出すること。

出願資格(7)、(8)のいずれかに該当する者は提出不要。

中国の大学を修了(見込)の場合

中国高等教育学生信息网(CHSI)が発行する認証書が必要。詳細は「中国の大学を修了(見込)の方(29ページ)」を確認すること。

《試験区分別の注意事項》

一 般 社 会 人

紙の証明書の写真データをPDF化したものでは不鮮明のため、複合機などでスキャンしたPDFをアップロードすること。

※合格者は結果通知日から1か月以内に本紙(紙媒体)を郵送により提出すること。最終的に提出が無い場合は入学を認めない。

(4) 修士の学位授与(見込)証明書 **※写し(コピー)不可**

対象: 出願資格(2)(3)(4)(5)該当者

出身大学院の学長又は研究科長が日本語又は英語で作成したものを提出すること。日本語又は英語での作成ができない場合は、自国の大使館、総領事館等の公的機関で作成又は証明した日本語又は英語の訳文(日本語学校又は翻訳会社の公印付きの翻訳文書も認める)を併せて提出すること。修了証明書等で学位取得が確認できる場合は提出不要。

中国の大学を修了（見込）の場合

中国高等教育学生信息网（CHSI）が発行する認証書が必要。詳細は「中国の大学を修了（見込）の方（29 ページ）」を確認すること。

《試験区分別の注意事項》

一 般 社 会 人

紙の証明書の写真データを PDF 化したものでは不鮮明のため、複合機などでスキャンした PDF をアップロードすること。

※合格者は結果通知日から 1 か月以内に本紙（紙媒体）を郵送により提出すること。最終的に提出が無い場合は入学を認めない。

(5) 検定料払込証明書 ※写し（コピー）可

インターネット出願サイトにて支払い手続可能な場合（クレジットカードを持っている場合）は、提出不要。

検定料 30,000 円を在住国の金融機関から下記の口座まで送金し、払い込んだことが分かる書類を提出すること。

また、必ず本人名義で振り込むこと。

Bank Name	The Hokuriku Bank, Ltd.
Branch Name	Kanazawaminamichuo Branch
Branch Address	1-32-38, Teraji, Kanazawa, Ishikawa, Japan
Beneficiary	Japan Advanced Institute of Science and Technology
Type of Account	Ordinary savings account
Account Number	6037485
SWIFT(BIC) Code	RIKBJPJT

（注意事項）

検定料を送金する場合は、出願締切までに本学による入金確認を受け、インターネット出願登録データを確定させる必要があるため、送金手続はできるだけ早く行うこと。銀行で手続をする際、コルレスチャージ（支払銀行手数料）は「支払人負担」です。誤って「受取人負担」にすると、送金額から手数料が差し引かれ、検定料入金額が不足します（この場合、出願は受理しません）。なお、国費外国人留学生は検定料不要。

(6) 研究室受入文書

【様式任意】希望指導教員の研究室受入れの内諾を得たことが分かる電子メール等の文書

(7) 産学連携先端科学技術プログラム受入文書

【様式任意】副研究科長から本プログラムへの受入れの内諾を得たことが分かる電子メール等の文書。希望指導教員を通じて入手すること。

(8) 推薦書 ※写し（コピー）不可

【様式任意】所属機関の上司等が作成したもの。

(9) 研究業績に関する資料

1. 査読付き国際誌学術論文又はそれに準じる研究業績の写し（発表済みまたは発表決定済みのものに限る）。産学連携先端科学技術プログラム（早期修了）を選択する場合は必須とする。
2. 【様式任意】その他の研究業績リスト

(10) 国費留学生証明書 ※写し（コピー）不可

対象：他大学に在学している国費外国人留学生（文部科学省）
当該大学が作成したもので、奨学金支給期間が明記されているもの。

(11) 外国政府派遣留学生証明書 ※写し（コピー）可

対象：外国政府派遣留学生
外国政府派遣留学生であることを証明又は確認できるもの。

(12) 戸籍抄本等

対象：婚姻等により証明書と氏名が異なる者
旧氏名、新氏名が確認できるもの。

(注) 「写し（コピー）不可」について

一 般 社 会 人

証明書は写し（コピー）ではなく、原本をアップロードしてください。なお、出身大学院による厳封がされているものは開封してアップロードしてください。その場合でも、合格後の本紙提出時には出身大学院による厳封された証明書をあらためて提出する必要があります。

原本のアップロードができない場合は、Certified True Copy（原本から正しく複製されたものであることが出身大学院又は大使館、総領事館等の公的機関によって証明されたもの）をアップロードしてください。

海 外 在 住 産 学

証明書は写し（コピー）ではなく、原本を提出してください。なお、偽造防止処理のない用紙に電子押印された証明書の場合、出身大学院による厳封がされていないものは受理しません。

原本の提出ができない場合は、Certified True Copy（原本から正しく複製されたものであることが出身大学院又は大使館、総領事館等の公的機関によって証明されたもの）を提出してください。

中国の大学を修了（見込）の方

中国の大学を修了（見込）の方は、「成績証明書」、「修了（見込）証明書」及び「修士の学位授与（見込）証明書」について、以下のとおり提出してください。

(1) 修了者

① 申請方法

出願者自身が中国高等教育学生信息网（CHSI）の WEB サイトにアクセスし、出願締切日までに電子認証メールが CHSI から教育支援課入試係に直接送信されるように申請してください。

[電子認証メール送信先：nyushi@ml.jaist.ac.jp]

CHSI から直接本学が届くメールに限り有効です。出願者本人が受信したメールの転送や紙媒体による提出は、出願書類として認めません。

② 申請（提出）書類

次の認証書（英文）をすべて提出してください。

成績認証書	Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript
学歴認証書	Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate
学位認証書	Verification Report of China Higher Education Degree Certificate

(注意事項)

- ・ 出願締切日までに、本学で電子認証メールが受信できない場合は、出願を受理しません。
- ・ 出願者が申請してから認証書が発行されるまで長期間要する場合がありますので、余裕をもって申請してください。
- ・ 認証書を一度提出している場合、内容に変更がなければ、令和8年度に実施する入学者選抜試験への出願に限り、認証書を再提出する必要はありません。

(2) 修了見込者

出願時は、27 ページに記載した「成績証明書」、「修了（見込）証明書」及び「修士の学位授与（見込）証明書」を提出してください。

修了及び学位取得後速やかに上記『(1) 修了者』と同様の手順で、電子認証メールが教育支援課入試係に直接送信されるように申請してください。

(注意事項)

- ・ 入学時まで、本学で認証書のメールが受信できない場合は、入学を取り消すことがあります。

V. 重要事項

1. 出願及び受験等に関する注意事項
2. 受験上及び修学上において特別な配慮等が必要な場合の
事前相談
3. 入学時納付金
4. 長期履修制度
5. 教育訓練給付制度（一般教育訓練給付）※東京サテライトのみ
6. 安全保障輸出管理
7. 個人情報の取扱い

※各選抜に関する全ての事項は、出願者が学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。なお、訂正等があれば本学ホームページ等にてお知らせします。

1. 出願及び受験等に関する注意事項

- (1) 一つの出願についての合否が発表される前に、本学の他の選抜試験には出願できません。
- (2) 出願書類等に不備があるものは受理しません。また、提出後の出願書類等の返還及び記入事項の変更も認めません。
- (3) 出願書類等は、証明書・推薦書等（志願者以外の第三者が作成すべきもの）を除き、本人が記入・作成すること。虚偽の事項を記入した、又は当然記入すべき事項を記入しなかったことが判明した場合は、入学後でも入学許可を取り消します。
- (4) 出願資格について「見込」で合格し、それを充足した旨の証明書が提出できない場合、入学後であっても入学許可を取り消します。
- (5) 納入された検定料は、為替レート等による過払い金も含め、原則返還しません。ただし、次に該当した場合のみ返還するので、入学月の末日までに教育支援課入試係へ連絡してください。
 - ① 検定料を振込済であるが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - ② 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- (6) 下記に記載の行為またはこれに準ずる行為があったと本学が判断した場合、不正行為とみなし、試験の中止や試験結果を無効とします。また、入学決定後にこれらの行為があったことが発覚した場合は、入学許可を取り消します。これら不正行為に対して本学は厳正な対応を取り、その結果として法的措置を講じることがあります。なお、これらに該当する場合、提出された出願書類及び検定料は返還しません。
 - ① 他者によるなりすまし受験行為
 - ② カンニング行為
 - ③ 他者との協力行為
 - ④ 本学の指示に従わない等、試験の公平性を欠く恐れのある行為
 - ⑤ 試験の録音・録画等、試験内容を記録に残す行為
 - ⑥ 虚偽の出願書類を作成する行為又は当然記入すべき事項を記入しない行為
 - ⑦ 証明書・推薦書等を偽造する行為
 - ⑧ その他前各号に準ずると本学が判断した行為
- (7) 出願時に提出された顔写真、パスポート写真、在留カードの写真等は、入学後の本人確認の際にも使用します。
- (8) 本学の選抜試験に関する出願・手続きは、募集要項を熟読し、受験者本人の責任において行ってください。受験手続きや出願書類の作成、ビザ申請手続き、奨学金受給の手続き等について、手数料や代行料を請求して仲介・斡旋を行う業者又は代理人が存在し、合格を確約するなど偽って高額な手数料を請求するといった情報が寄せられています。これらの業者等と本学とは一切関係ありません。このような業者等を利用したことにより生じたトラブルや不利益について、本学は一切の責任を負いかねますので、十分注意してください。
- (9) 合格した試験の試験区分と異なる年・月に入学することはできません。出願手続をその都度行う必要があります。
- (10) 本学の協働教育プログラムに基づく外国人留学生等を対象とする学生募集要項は別に定めます。

2. 受験上及び修学上において特別な配慮等が必要な場合の事前相談

身体及び心身等に障がい又は病気等があり、受験上及び修学上において特別な配慮又は機器等の持ち込み等を必要とする場合は、出願締切日の1か月前までに下記の書類を教育支援課入試係に提出してください。

- (1) 申請書（下記事項を記載、様式任意）
 - ・氏名、専攻、試験区分、受験希望回、連絡先
 - ・障がい等の種類
 - ・受験及び修学に特別な配慮を必要とする事項
- (2) その他の参考書類（身体障害者手帳、障害者手帳の写し等）

3. 入学時納付金

区分		金額	摘要
①入学料		282,000 円	・納付された入学料は返還しません。
②授業料	前・後期各	267,900 円	・全国の銀行・信用金庫・信用組合及びゆうちょ銀行の「預金口座からの振替（引落し）」による納付方法を導入しています（農協及び漁協は利用不可）。 ・授業料の振替日は、前期分が毎年5月20日、後期分が毎年11月20日です。 ・年額での納付も可能です。
	年額	535,800 円	
③保険料 (3年分：学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険)		3,620 円	・左記2つの保険をセットで全員に加入を義務づけています。

- (注) 1. 納付金についての詳細は入学手続き時に通知します。
2. 入学時及び在学中に納付金①②の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料を適用します。
3. 国費外国人留学生は、納付金①②の納付を要しません。

4. 長期履修制度

本制度は、職務等の都合により大学での学修が制限され、標準修業年限（博士前期課程は2年、博士後期課程は3年）での修了が困難であることが想定される場合で、かつ、当該学生の申請があった場合に、標準修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に履修することをあらかじめ認めるものです。長期履修が許可された場合、認められた在学期間内において標準修業年限分の授業料で履修することができます。

制度の詳細については、本学ホームページ（トップページ→教育→教務に関する各種制度→長期履修制度）を参照してください。

なお、10月入学者で合格者発表日が9月中の者及び4月入学者で合格者発表日が3月中の者について

ては、入学前に申請を受け付けることができません。入学後にも申請の機会がありますので、入学後に申請してください。

また、東京社会人コース及び産学連携社会人コースの学生が本制度を利用した場合、教育訓練給付は申請できません。

5. 教育訓練給付制度（一般教育訓練給付）※東京サテライトのみ

本制度は、雇用保険の一般被保険者又は一般被保険者であった者が、雇用の安定及び就職の促進を図るために必要な職業に関する教育訓練として、厚生労働大臣が指定した教育訓練を受講し修了した場合、当該受講者本人が支払った費用の一部が公共職業安定所（ハローワーク）より支給される制度です。

(1) 本学が指定を受けた教育訓練

東京社会人コース

産学連携社会人コース

(2) 支給割合等

受講者が教育訓練実施者に対して支払った教育訓練経費の20%（上限10万円）に相当する額がハローワークから支給されます。なお、国が定める受給資格を満たす必要があります。

(3) 申請等手続

教育訓練給付金の支給申請手続は、教育訓練を受講した本人が受講終了（本学修了）後、本人の住所を所管する公共職業安定所（ハローワーク）に対して、給付金支給申請書等の書類を提出することによって行います。なお、長期履修制度を利用した場合は申請できません。

6. 安全保障輸出管理

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し安全保障輸出管理を行っています。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合がありますので、留意してください。

7. 個人情報の取扱い

本学では、「国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学個人情報管理規則」等を制定し、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続時に提出いただく書類に記載されているすべての個人情報については、次の業務で利用し、これらの目的以外には利用しません。

- ・入学者選抜及び入学手続に関わる業務
- ・入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務
- ・入学科・授業料免除、奨学金申請等の修学支援に関わる業務
- ・入学・授業料及び寄宿料等の納入に関わる業務
- ・入学者データ等の統計処理業務
- ・同窓会活動への支援等に関する業務（同窓会活動支援のための同窓会への個人情報の提供も含む）
※入学者のみ
- ・その他、本学の教育・研究、管理・運営上必要な業務

VI. 所定の様式

1. 入学願書（海外在住者対象特別選抜用）
2. 産学連携先端科学技術プログラム希望届
3. 同意書（産学連携社会人コース特別選抜用）
4. 特定類型該当性の自己申告書
5. 誓約書
6. 学校教育等履歴書
7. 職歴調書
8. 志望理由書
9. 高度情報専門人材育成コース申請書

※所定の様式は本学ホームページ（トップページ→入学案内→所定の様式）からダウンロードし、入力してください。

(海外在住者対象特別選抜用 / Examination for Overseas Residents

・先端科学技術専攻 / Division of Advanced Science and Technology)

受験番号 Examinee's Number	※
---------------------------	---

北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科
先端科学技術専攻博士後期課程入学願書

※欄は記入しないこと / Official use only

Application Form - Doctoral Program / Japan Advanced Institute of Science and Technology

□には✓でチェックすること。 / Please check the appropriate box.

受験する選抜試験名/ Type of Examination	海外在住者対象特別選抜/ Examination for Overseas Residents			写真 / Photograph たて よこ 4 cm × 3 cm / 4 cm long × 3 cm wide
入学希望年月 / Admission Term	□令和8年10月/October 2026 □令和9年4月/April 2027			
フリガナ				
氏名 / Name 外国人留学生は英字で記入 / International students must write their names in English.			性別 / Gender □男 / Male □女 / Female	
生年月日 / Date of Birth	年 / Year	月 / Month	日 / Day	

希望指導教員名 / Intended Supervisor			
希望する学位 (1つ) / Degree you wish to obtain (Please select one.)	□知識科学 / Knowledge Science □情報科学 / Information Science □マテリアルサイエンス / Materials Science		*本項目は、あくまでも面談の参考にするものであり、入学後の目指す学位には一切影響しない。 / This information will be used only for the interview and will not affect the degree you wish to obtain.

出願資格を満たす最終学歴 / Eligibility Requirement	□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8				*募集要項の「出願資格」から1つ選択 / See Eligibility Requirements on the Application Guide.
	大学院名/ University	研究科名/ Department	専攻名/ Major		
	□修了 / Graduated □修了見込 / Will graduate		in	年 / Year	月 / Month

現住所 / Current Address 〒			
Email	携帯電話 / Cell Phone	自宅電話 / Home Phone	
緊急時の連絡先住所 / Emergency contact address 〒			
氏名 / Name	続柄 / Relationship	電話 / Phone	

学 歴 / Educational Background 学歴は高等学校から記入。大学においては学部・学科、大学院においては研究科・専攻まで記入。大学等で研究生として在学歴がある場合は学歴欄にその期間も記入。 Applicants must fill in their educational background starting from high school until the most recent school. If applicable, please also write any experience as a research student at a university or other institution. Please fill in the department and faculty of the university.	
入学・卒業 (見込) 年月 / Period of (Expected) Attendance	学校等の名称 / Name of School
年/Year 月/Month ~ 年/Year 月/Month	高等学校 / Secondary School (所在国/Country)
年/Year 月/Month ~ 年/Year 月/Month	
年/Year 月/Month ~ 年/Year 月/Month	
年/Year 月/Month ~ 年/Year 月/Month	

職 歴 / Professional Background	
入社・退職年月 / Period of Employment	企業・機関等名称 / Name of Organization
年/Year 月/Month ~ 年/Year 月/Month	
年/Year 月/Month ~ 年/Year 月/Month	
年/Year 月/Month ~ 年/Year 月/Month	
現有職者選択欄 / Will you quit your job at the time of enrollment?	入学後に [□退職する・□退職しない] 予定です。 / (□Yes ・ □No)

国籍 / Nationality	区分 / Category	□私費留学生 / Privately financed international students □日本政府奨学金留学生 / Japanese government (MEXT) scholarship students □外国政府派遣留学生 / Foreign government scholarship students		
氏名 / Name	Family	Given	Other (s)	
言語能力 (自己評価を excellent・good・fair・poor から選択) / Language Proficiency (Evaluate the level as excellent, good, fair or poor.)				
英語 / English	読む / Reading □excellent □ good □ fair □ poor	書く / Writing □excellent □ good □ fair □ poor	聞く / Listening □excellent □ good □ fair □ poor	話す / Speaking □excellent □ good □ fair □ poor
日本語 / Japanese	読む / Reading □excellent □ good □ fair □ poor	書く / Writing □excellent □ good □ fair □ poor	聞く / Listening □excellent □ good □ fair □ poor	話す / Speaking □excellent □ good □ fair □ poor

産学連携先端科学技術プログラム希望届

氏名

○どちらかの希望プログラムの口に✓を入れてください。

産学連携先端科学技術プログラム（早期修了）

これまでの研究業績や、所属機関と本学との産学連携研究等を通じた研究業績等を踏まえて、最短1年（※）での博士学位の取得を目指すプログラムです。

研究・学修の進捗状況によっては、1年以上に延長することも可能です。

産学連携先端科学技術プログラム（早期修了）を選択するためには、出願時点において、査読付き国際誌学術論文（発表済みまたは発表決定済みのもの）1報以上またはそれに準じる研究業績を有することを条件とします。

産学連携先端科学技術プログラム（一般）

所属機関と本学との産学連携研究等を通じた研究業績等を踏まえて、標準3年での博士学位の取得を目指すプログラムです。

あらかじめ3年を超える長期の履修計画とすることや、研究・学修の進捗状況によって3年未満（※）に短縮することも可能です。

産学連携先端科学技術プログラム（一般）を選択するうえでは、出願時点において、研究成果（論文発表されていないものや企業等で活用されていないものを含む）を有することが推奨されます。

（※）大学院設置基準の規定により、博士課程の修了には、修士相当課程の在学年数を含め最低3年以上の在学期間が必要となります。このため、例えば、修士相当課程を1年で早期修了した場合は、本制度による博士後期課程の修了に最短2年の在学期間が必要となります。（入学資格審査を経て受験する場合は、この限りではありません。）

同意書

北陸先端科学技術大学院大学長 殿

北陸先端科学技術大学院大学産学連携社会人コース特別選抜に出願するにあたり、以下の各項に示す条件について、内容を理解し同意した上で出願します。また、入学後はこれらの条件に従うことに同意します。

- 1 本学入学後に学修・研究活動の成果として創出された特許法（昭和 34 年法律第 121 号）に規定する発明、実用新案法（昭和 34 年法律第 123 号）に規定する考案及び意匠法（昭和 34 年法律第 125 号）に規定する意匠（以下「発明等」という。）の取り扱いは、国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学発明規則（以下「本学発明規則」という。）に従って行われること。
- 2 前項の規定により、発明等は本学発明規則に規定する職務関連発明等として取り扱われ、当該発明等に係る知的財産権（特許法に規定する特許権、実用新案法に規定する実用新案権及び意匠法に規定する意匠権並びに特許法に規定する特許を受ける権利、実用新案法に規定する実用新案登録を受ける権利及び意匠法に規定する意匠登録を受ける権利をいう。以下同じ。）の帰属は学長が決定すること。
- 3 前項の規定により本学帰属となった知的財産権について所属機関が活用を希望する場合は、本学と所属機関との間で実施許諾に対する対価の支払いを伴う実施許諾契約を締結する必要があること。その際、当該実施許諾契約期間中に発生する当該知的財産権の維持に必要な費用は、原則として所属機関側がその全額を負担すること。
- 4 第 2 項の規定により本学帰属となった知的財産権について所属機関が本学持分の譲受けを希望する場合は、本学と所属機関との間で譲渡対価の支払いを伴う譲渡契約を締結する必要があること。
- 5 本学と所属機関との間で共同研究契約を締結した場合、発明等及び知的財産権に係る取扱いは、前各項の規定にかかわらず当該共同研究契約により決定されること。その際、当該取扱いは前各項と同じ内容にもなり得ること。また、契約の内容によっては、出願者の入学後の研究発表、論文投稿等の内容に制限が生じる場合があること。

年 月 日

出願者の署名

所属機関担当者の所属・職名

所属機関担当者の署名

特定類型該当性の自己申告書 / Self-Declaration Form of Applicability to a Specific Category

外国為替及び外国貿易法（以下「外為法」という。）に基づき、規制対象となる貨物の輸出や技術の提供について経済産業大臣の許可を受ける義務が課せられていることから、本学では「国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学安全保障輸出管理規則」を定め、安全保障輸出管理に取り組んでおります。

安全保障輸出管理では、非居住者（日本入国後6月未満の学生等）への技術等の提供に加え、居住者（日本入国後6月以上経過した学生等）であっても非居住者の非常に強い影響下にある場合、そのような居住者（特定類型該当者）に対する技術等の提供についても「みなし輸出」として管理の対象となります。

このことから、本学への出願を希望する方には外為法に基づく「みなし輸出」における管理対象であるかどうかの自己申告をお願いしております。ご自身の状況について、別紙のフローチャートを参照いただき、太枠内を記入の上、出願書類と併せてご提出ください。

Since any export of goods or transfer of technologies subject to the controls requires a license from the Minister of METI (the Ministry of Economy, Trade and Industry) based on the Foreign Exchange and Foreign Trade Act (hereafter referred to as "FEFTA"), JAIST has established regulations for Security Export Control and we are working on it.

Transferring technologies, etc. to a none-resident (a student who has been staying in Japan for 6 months or less, etc.) and to a resident (a student who has been staying in Japan for 6 months or more, etc.) who is under the significant influence of a non-resident, (a person who falls under the specific category), are subject to control as "deemed export control".

We ask all applicants for admission to self-declare whether or not they are subject to the "deemed export control" based on the FEFTA. Please refer to the attached flowchart, fill in the form and submit it along with your application documents.

(注1 / Note 1) 外国人留学生は氏名を英字で記入すること。 / International students must write their names in English.

記入年月日 / Date	年 / Year	月 / Month	日 / Day
氏名 / Name (注1 / See Note 1)			
課程 / Program (Place a check mark in the appropriate box.)	<input type="checkbox"/> 博士前期課程 / Master's Program <input type="checkbox"/> 博士後期課程 / Doctoral Program		
特定類型該当性の自己申告 / Self-Declaration of Applicability to a Specific Category (Place a check mark in the appropriate box.)	<input type="checkbox"/> 類型①に該当 / I fall under the category 1 <input type="checkbox"/> 類型②に該当 / I fall under the category 2 <input type="checkbox"/> 類型①②の両方に該当 / I fall under the category 1 and 2 <input type="checkbox"/> いずれにも該当しない / I do not fall under any of the categories		

特定類型該当性の判断に係るフローチャート/ The flowchart to Check regarding Category

※「外国」とは「日本以外の国」を指します。

留学生等日本以外の国から来られる方の場合、自国も含まれます。

/The term "foreign country" refers to countries other than Japan. In the case of individuals such as international students coming from countries other than Japan, it includes their own country as well.

類型①について/ About Category 1

外国法人等（外国大学を含む。）か外国政府等と雇用契約（契約の名称を問わず、時間的・場所的に拘束されるもの）又は取締役としての委任契約を締結しているか？
/Have you entered into an employment contract (i.e., temporal or physical obligation regardless of its name), a delegation contract as a board member with a foreign corporation (including a foreign university) or a foreign government?

NO

類型①に該当しない。
/You do NOT fall under Category 1.

YES

本自己申告書又は誓約書の提出先との契約に基づく指揮命令又は善管注意義務が、あなたの外国法人等又は外国政府等との契約に基づく指揮命令又は善管注意義務に優先するとの合意があるか？
/Is there any agreement that confirms the direction or the duty of care according to the contract with your organization in Japan (i.e., the destination of your letter of confirmation) supersedes the direction or the duty of care according to the contract with your foreign corporation or foreign government?

YES

類型①に該当しない。
/You do NOT fall under Category 1.

NO

本自己申告書又は本誓約書の提出先と、あなたが契約を結んでいる外国法人等はグループ企業の関係にあるか？（通常、大学等では該当しません。）
/Is the foreign corporation with which you have contracted a group company of your organization in Japan (i.e., the destination of your letter of confirmation)?

YES

NO

類型①に該当する。
/You MIGHT fall under Category 1.

類型②について/ About Category 2

外国政府等から、個人として（×大学として、研究室として）多額の金銭その他の重大な利益を得ている、または、得ることを約束しているか？
/Do you earn or agree to earn, as an individual not in the name of your university or laboratory, a large amount of money or other significant profit from a foreign government?

NO

類型②に該当しない。
/You do NOT fall under Category 2.

YES

その利益を金銭換算した場合、年間所得のうち25%以上を占めているか？
/Does the profit account for 25% or more of your annual income when converted into money?

NO

YES or 不明
/Unclear

類型②に該当する。
/You MIGHT fall under Category 2.

北陸先端科学技術大学院大学長 殿
To President of JAIST

誓 約 書 Pledge

私は、北陸先端科学技術大学院大学入学者選抜試験の出願にあたり、以下の不正受験行為を行わないことを誓約します。

- (1) 他者によるなりすまし受験行為
- (2) カンニング行為
- (3) 他者との協力行為
- (4) 本学の指示に従わない等、試験の公平性を欠く恐れのある行為
- (5) 試験の録音・録画等、試験内容を記録に残す行為
- (6) 虚偽の出願書類を作成する行為又は当然記入すべき事項を記入しない行為
- (7) 証明書・推薦書等を偽造する行為
- (8) その他前各号に準ずると本学が判断した行為

万一、虚偽、不正が発覚した際は、受験資格、入学資格が取り消される場合があることを承知しました。

I hereby pledge that, in applying for the entrance examination of JAIST, I will not engage in any of the following acts of misconduct:

1. Impersonation, including having another person take the examination on my behalf
2. Cheating during the examination
3. Collaborating with others in any manner during the examination
4. Any act that may compromise the fairness of the examination, including failure to follow the JAIST's instructions
5. Recording the examination content in any form, including audio or video recording
6. Preparing application documents that contain false information or failing to provide information that must be entered
7. Forging certificates, letters of recommendation, or other similar documents
8. Any other acts deemed by JAIST to be similar to the acts listed above

I understand that if any false statements or misconduct are discovered, my eligibility for the examination or admission may be revoked.

記入年月日 : _____
Date this pledge was completed: _____
年 / Year 月 / Month 日 / Day

出願者氏名 (自署) : _____
Applicant's Name:
(Print in block letters) _____

※欄は記入しないこと。

Official use only

学校教育等履歴書
Curriculum Vitae

※受験番号

Examinee's Number

入学希望年月 Semester for which you are applying	<input type="checkbox"/> 令和8年10月 October 2026	<input type="checkbox"/> 令和9年4月 April 2027	<input type="checkbox"/> 令和9年10月 October 2027		
志望課程 Intended program	博士後期課程 Doctoral Program	生年月日 Date of Birth	Year	Month	Day
氏名 Full name in English	Family	Given	Other(s)		

[学歴 Educational Background]

	学校名及び所在地 Name and location of school	正規の 修学年数 Officially required number of years of schooling	入学及び卒業年月 Year and month of enrollment and graduation or completion	修学年数 Duration of attendance	学位・資格 Qualification (degree, diploma or certificate)
初等教育 Primary Education	学校名 Name	年 years	入学 From Year Month	年 years and 月 months	
小学校 Primary School	所在地 Location		卒業 To Year Month		
中等教育 Secondary Education	学校名 Name	年 years	入学 From Year Month	年 years and 月 months	
	中学 Lower		所在地 Location		
中学及び 高校 Secondary School	学校名 Name	年 years	入学 From Year Month	年 years and 月 months	
高校 Upper	所在地 Location		卒業 To Year Month		
高等教育 Higher Education	学校名 Name	年 years	入学 From Year Month	年 years and 月 months	
大学 Undergraduate Level	所在地 Location		卒業 To Year Month		
大学院 Graduate Level	学校名 Name	年 years	入学 From Year Month	年 years and 月 months	
	所在地 Location		卒業 To Year Month		
以上を通算した全学校教育修学年数 Total years of the schooling mentioned above		年 years		年 years and 月 months	

注) 上欄に書ききれない場合には、適宜別紙に記入して添付すること。 If the given space is not enough, attach additional sheets.

[職歴 Professional Background]

勤務先及び所在地 Name and location of organization	勤務期間 Period of employment
	From To
	From To
	From To
	From To

注) 虚偽の事項を記載し、又は当然記載すべき事項を記入しなかったことが判明した場合は、入学許可を取り消すことがある。
If it is discovered that an applicant has made false statements or has neglected matters to be stated on this curriculum vitae, the admission may be revoked even after enrollment.

[日本在住連絡人] 外国在住の方のみ記入してください。 For applicants living overseas, please fill out a contact person in Japan (if any).

氏名 Full Name	出願者との関係 Relationship to the applicant
住所 Address	
電話番号 Phone:	電子メール Email:

職歴調書

過去・現在の職歴及びその職務内容(や研究内容)について、枠内に収まるよう記述すること(自由記述)。
なお、本コースへの入学に当たり職務経験についてアピールしたい点があれば、併せて記述すること。
注 文中に出身大学名、出身大学の指導教員名、勤務先名は記入しないこと。

氏名：

(外国籍の志願者は英字で記入)

志望理由書

記入にあたっての注意：

博士前期課程・修士課程在学中に興味をもった研究や取り組んできた研究、得意科目、本学入学後の抱負及び大学院修了後に活躍したい分野などについて枠内に収まるように記述すること（自由記述）。

氏名：

(外国人留学生は英字で記入)

※1 欄は記入しないこと。

※1 受験番号

高度情報専門人材育成コース申請書

○本コースに係る注意事項

1. 本コースは「情報科学」の学位取得を希望する者に限ります。入学願書又はエントリーシートの希望する学位が「情報科学」以外の者は本コースの対象外です。
(本学からは対象外等の不備に関する連絡はしません。出願締切後の本申請書の提出は認めません。)
2. 入学者選抜試験と本コースの合否は別の審査となるため、入学者選抜試験が合格となった場合でも本コースは不合格となる場合があります。その場合でも、入学手続きが完了していれば、本コース以外への入学が可能です。
本コースの合否結果通知等に関する詳細については、入学者選抜試験の合否結果通知と併せて対象者に連絡します。
3. 本コースの学生が所属できる研究室は限られているため、下記本学 HP で対象となる研究室を確認してください。
また、下記の入学者選抜試験の合格者は、合格後に「配属研究室入学前内定制度」を利用し、対象教員から研究室の受け入れの内諾を得てください。内諾を得ていない者は本コースに入学できません。(本学からは内諾を得ていない者への確認の連絡はしません。)
 - ・ 博士前期課程入学者選抜試験 (一般選抜)
 - ・ 博士前期課程入学者選抜試験 (随時特別選抜)
 - ・ 博士前期課程入学者選抜試験 (協定校対象推薦入学特別選抜)
 - ・ 博士前期課程入学者選抜試験 (社会人コース特別選抜)
4. 本コースの合否結果通知は、入学月の1ヶ月程度前に通知します。

私は上記注意事項を確認し理解したうえで、高度情報専門人材育成コースに申請します。

氏名 (自署) ※2

※2 直接手書きで記載すること

【参考 (本学ホームページ)】

○高度情報専門人材育成コース HP

<https://www.jaist.ac.jp/project/jaist-human/>

○配属研究室内定制度

<https://www.jaist.ac.jp/education/procedures/>